

## 平成 23 年度 杉並区の財政見通しについて

平成 23 年度の区の財政は、平成 20 年秋のリーマンショック後の景気低迷が予想以上に大きく影響し、極めて厳しい見通しとなっている。

- 1 区の歳入（一般財源）は、リーマンショック前の平成 20 年度を 100 とすると、平成 21 年度 92、平成 22 年度 90 と、ほぼ 10% 程度の減収が続いてきた。平成 23 年度においては、前年度に比べ財調交付金や各種交付金の微増が見込まれる一方で、引き続き基幹的な税収である特別区税の減が見込まれ、減収傾向は、平成 23 年度予算においても同様に継続していくことが想定される。

【別紙 1】

- 2 他方、厳しい社会経済環境を背景に、保育需要への対応をはじめとして、生活保護や障害者自立支援サービス等、福祉関連経費が大きく増加しており、職員人件費の削減等、徹底した内部努力を継続しているにもかかわらず、区の歳出は、ほぼ横ばいの傾向にあると想定される。

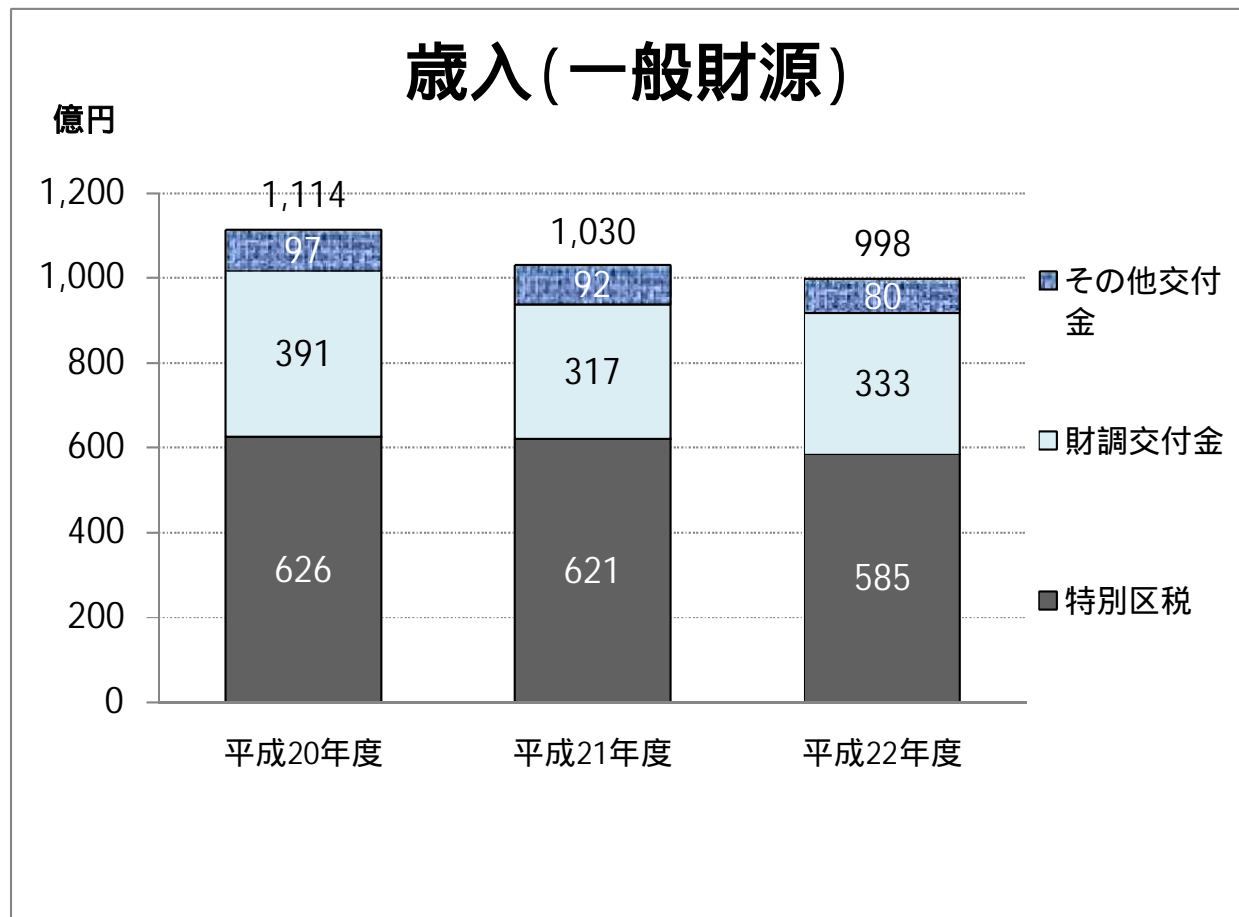
【別紙 2】

- 3 こうした厳しい財政状況を踏まえ、区では、この間、財政調整基金や施設整備基金等の基金の取崩しで対応してきたが、そうした財政運営も、もはや限界にきているとの判断に立ち、先の第 4 回区議会定例会では、学校施設等の整備に約 25 億円の起債による対応を図ったところである。

平成 23 年度予算においても、歳出に対する歳入不足は百数十億円程度と見込まれ、引き続き基金の取崩しと起債による対応が必要となっている。

【別紙 3】

以上の状況から、平成 23 年度予算において減税基金への新たな積立てを行うことは、極めて困難な状況である。

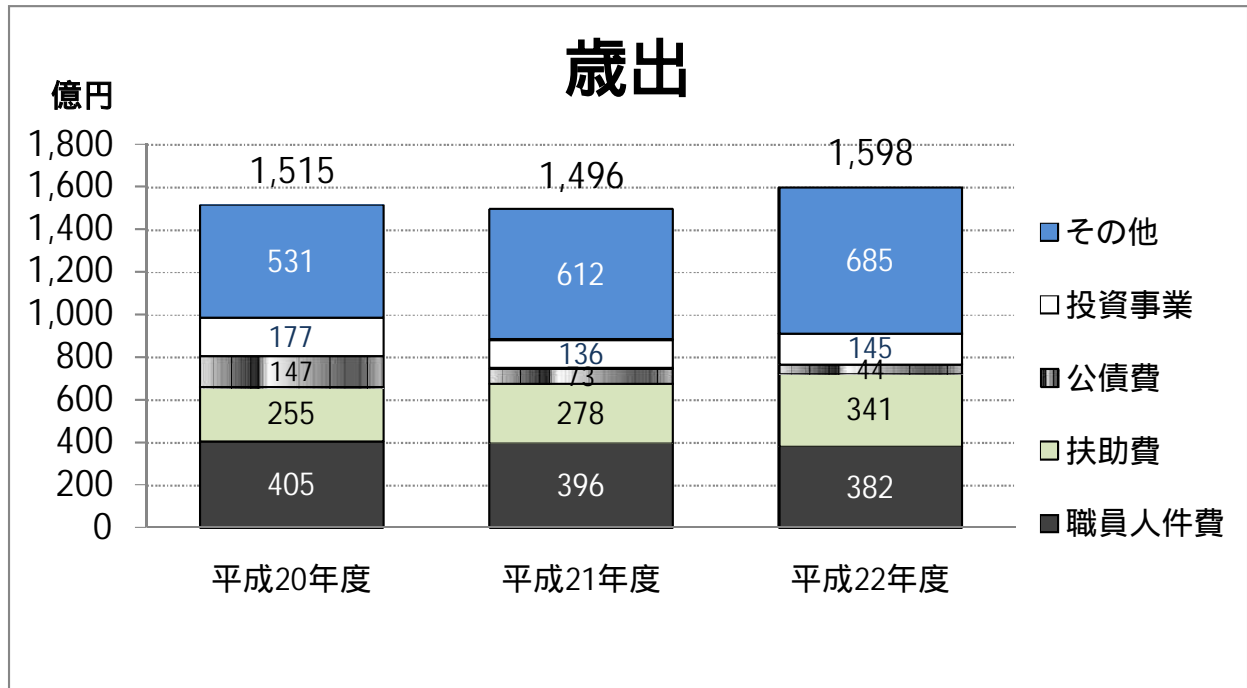


単位:億円

	平成20年度	平成21年度	平成22年度
特 別 区 税	626	621	585
財 調 交 付 金	391	317	333
そ の 他 交 付 金	97	92	80
一 般 財 源 歳 入 計	1,114	1,030	998
指 数	100	92	90

平成21年度までは決算額、平成22年度は予算額(補正4号までの財政計画額)

指数は平成20年度を100とした数値



単位: 億円

	平成20年度	平成21年度	平成22年度
職員人件費	405	396	382
扶助費	255	278	341
公債費	147	73	44
投資事業	177	136	145
その他	531	612	685
歳出計	1,515	1,496	1,598
指数	100	99	105

平成21年度までは決算額、平成22年度は予算額(補正4号までの財政計画額)  
 指数は平成20年度を100とした数値

